

# 因果関係の理解に基づく 批判的思考の育成支援に関する考察

大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 橋本陽生・林佑樹・瀬田和久

## 研究背景・目的

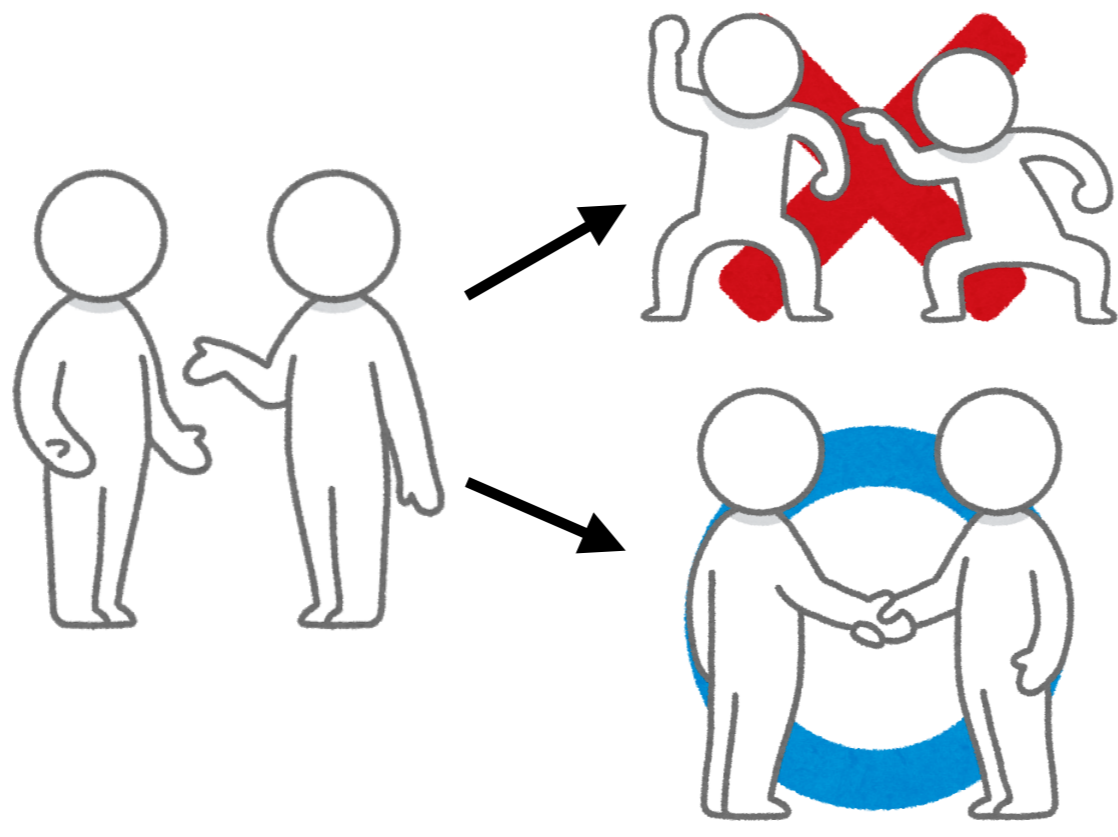
批判的思考 =

- ・論理的で偏りのない思考
- ・思考過程を意識的に吟味する省察的・熟慮的思考
- ・より良い思考のための目標志向的思考 [補見 2015]

弱い意味／強い意味の批判的思考 [Paul 1992]

**弱い意味**  
論理的、合理的ではあるが、自身の観点到執着してしまう  
他者の考えを否定することで自身の考えの正当性を強化する

**強い意味**  
既存の自己の考えと他者の考えを公平に合理的に評価しながら  
自己の考えの発展を目指すことができる



論理性、合理性を重視する批判的思考教育  
→ 弱い意味の批判的思考者

創造的知識構築課題への取り組みによる  
強い意味の批判的思考態度の醸成

## アプローチ

◆強い意味の批判的思考を支える態度 [Paul 1992]

- 知的謙遜
- 知的勇気
- 知的共感
- 知的誠実
- 知的忍耐
- 理性への信頼
- 知的正義感

- ① 自分の視点があくまでも一つの視点にすぎないと気づくこと
- ② 他者の視点に身をおいてそれを共感的に理解すること
- ③ たとえ自分の考えを否定することになっても両者を同じ基準で評価すること [道田 2005]

◆学習支援指針

- ①' 思考を揺さぶるメタ知識（ソクラティックな問い [Paul 1997]）を提供し、自身の思考文脈に適用する場を与える
- ①'' 同じ課題に取り組んだ他者の思考を基に、思考の広がり活性化させる
- ② 他者の思考への共感性を高めるために背後の考えの推察活動を活性化させる

◆学習STEP

強い批判的思考に基づいた議論を他者で行う前に、まず自身の思考に対して合理的か、バイアスや偏見がないか問い、考え抜くことが、態度に影響を与える

### STEP①

- ①' 自身の思考の構造を明らかにする
- ①'' 他者の思考に触れ、自身の思考の再構築を行う

### STEP②

STEP③で議論する相手の思考について、自身との差異や背後の考えについて吟味する

### STEP③

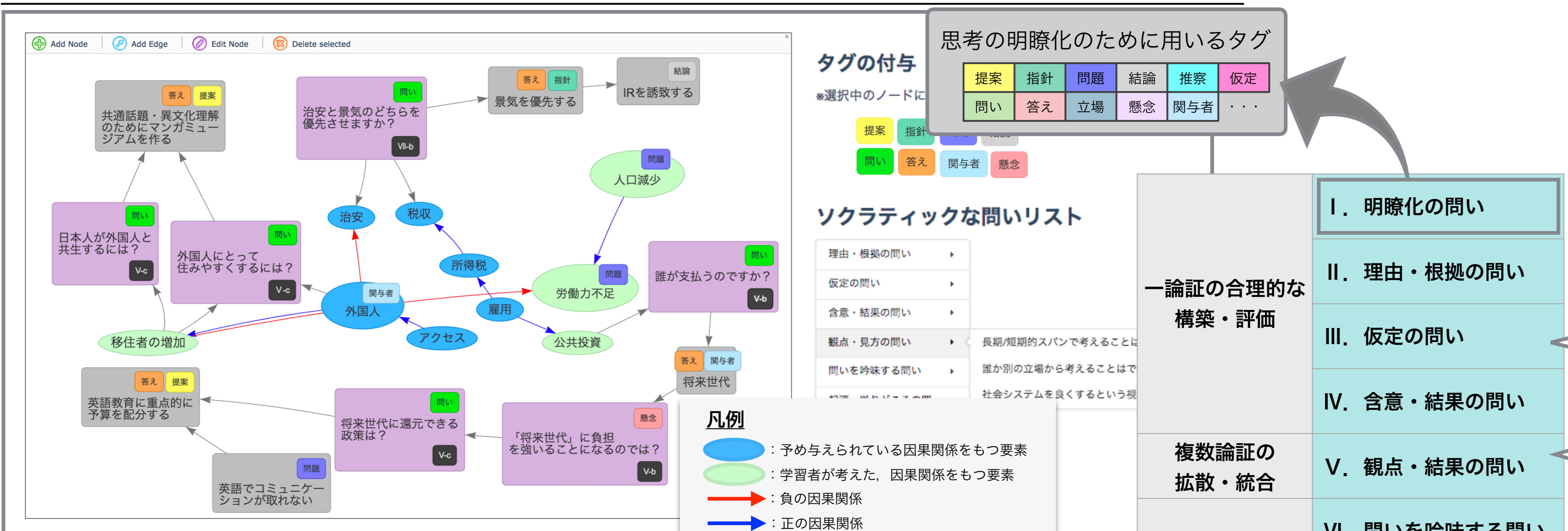
STEP②で思考した結果に関して、他者と協調学習を行いながら知識構築を目指す

## 提案手法

## STEP①, ②の活動（創造的議論に向けて）

STEP①' 問いを適用させ思考を揺さぶる

題材に関する文章から因果関係を読み取り、問いによって新たな提案を考えるなどの創造的な自己内対話を期待



### 学習題材

- ・ 解が一つに定まらず、複数の視点からの考察や、議論が可能である
- ・ 専門知識や事前知識がなくとも理解できる

→ 社会問題（今回はIR）

〇さんは国会議員で、日本にカジノを含んだIR施設を誘致する「IR推進法案」を推し進める中のひとりである。IR（統合型リゾート）は、カジノだけでなく大規模会議場、エンターテインメント施設が複合されている施設のこと。このような施設が建設されるには、建設のための雇用や、実際の従業員の雇用が相当数見込まれる

STEP①'' 思考の広がり活性化させる

学習者が注目できていない問いをシステムが判断し、思考を広げることを狙いとしてアプローチ

ソクラティックな問いのタクソノミー [Paul 1997]

「共通話題・文化理解のためにマンガミュージアムの建設」を提案している人がいます。メタ知識「社会システムを良くする」を用いて「外国人にとって住みやすくするには」と具体化し、さらに同じメタ知識を用いて「日本人が外国人と共生するには」と具体化し、この提案に至りました。これにより「移住者の増加」が、「人口減少」に起因する「労働者不足」の問題に寄与すると考えています。あなたは「社会システムを良くする」という観点でこのような考えを形成することができますか？

STEP② 他者思考の推察を通して共感性を高める

システムが、議論相手の思考過程や信念を推察させるような問いかけを行うことでSTEP③で創造的な議論の達成を目指した共感的理解を促進

議論相手は、「英語教育に重点的に予算を配分する」という提案をしています。この提案に至った考えを推察してください。

## まとめ

- ・ 自他の思考に対して批判的な問いを考えることで強い意味の批判的思考態度の獲得を促す学習を行う学習環境の提案